



ら ぶ っ く
La・BOOK

1月号

No.103

謹んで新春のお慶びを申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い致します



祝！ 豊科図書館 開館 10周年

今から 110 年前の明治 43 年に旧豊科小学校（吉野神社南）内に創立しました。県内では、小諸図書館、長野南部図書館に次いで 3 番目に古い図書館です。その後、昭和 27 年に豊科駅前通り南側に移り、昭和 42 年に現豊科公民館に併設となり、平成 23 年 2 月 11 日に現図書館が開館、今年 2 月に節目の 10 年目を迎えます。

かつては、一戸一冊寄贈運動をしたり、故藤澤帝氏等多くの方から本を寄贈していただいたりしてきました。



旧豊科図書館
(豊科公民館併設時)

大正 9 年 10 月末には約 3,400 であった蔵書数も、昨年度の統計では約 86,000 冊となり、一日平均約 350 人の方に利用していただいています。

これからも、皆さんが利用しやすい図書館を目指していきますのでよろしくお願いいたします。

【10周年記念講演会】(リモート開催)

講師：北尾トロ 氏 (フリーライター)
期日：2月28日 (日)
時間：午後1時30分～
場所：豊科交流学習センター「きぼう」
2F 多目的交流ホール
演題：『読書の愉しみ、執筆の醍醐味
～ライターという生き方～』
対象：中学生以上 入場料：無料
定員：30人 (先着順)
※詳細は後日配布予定のチラシをご確認ください。
*講師は来場しませんので、予めご了承ください。

豊科図書館の沿革

- <明治 43> 旧豊科小学校内に創立
- <大正 9> 明治記念図書館と改称
- <昭和 23> 終戦の社会体制の一環の公民館設置に伴い、公民館図書部に移管
- <昭 27> 豊科駅前通りの豊科自治警察署の庁舎を利用して、郡下唯一の常設図書館として開館
- <昭 30> 一町一か村合併により新豊科図書館となる。沿革住民サービスとして移動図書館開始 (昭 35 に終了)
- <昭 40> 松本清張氏を招いての文芸講演会開催
- <昭 42> 役場前の新設公民館に図書館が併設。藤澤帝氏から本とピアノの寄贈あり
- <昭 43> 公民館図書部から独立し豊科町立図書館と改称
- <昭 57> 西洋古典読書会、おはなし会発足
- <昭 59> 東洋古典読書会発足、団体貸し出し開始
- <平成 8> 移動図書館「GO GO 図書館 はくちょう号」開始(平 21,3 まで)
- <平 14> ブックスタート事業開始
- <平 19> ちいさいたんぼぼ (乳幼児向けおはなし会) 開始
- <平 23,2,11> 現豊科図書館開館



旧豊科図書館
(カウンター)

私と図書館

本を読む幸福

伊藤 博文(豊科)

私は空いた時間には、本を出来るだけ読みます。今は推理小説を多く読んでいます。社会人になつて、仕事と遊びに追われていた頃は、思うように空いた時間がとれなくて、本を読めませんでした。

私が図書館に行き始めたのは、確か五年以上になるかと思えます。図書館にはたくさんの本があり、好きな時に、好きな本を貸して頂いて読む事が出来ます。こんな幸せなことはありません。

高齢者になつた今、幸せな事に空いた時間はたくさんあります。残りの人生を本を読んで大切に生きて行きたいと思えます。

又、図書館の職員の方々は、皆さんとても親切で感謝しております。

最後に
” 皆さん、
たくさん本の読みま
しょう。”



12月貸出ランキング

一般書

- 1 ホテルローヤル／桜木紫乃
- 2 少年と犬／馳星周
- 3 素敵な日本人／東野圭吾
- 4 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
／プレイティみかこ
- 5 蜜蜂と遠雷／恩田陸
- 6 危険なビーナス／東野圭吾
- 7 流星の絆／東野圭吾
- 8 安曇の昭和／しなのき書房
- 9 希望の糸／東野圭吾
- 10 嫌われる勇氣／岸見一郎

丑



児童書

- 1 しろくまちゃんのほっとけーき
／わかやまけん
- 2 てぶくろ／エウゲーニー・M・ラチョフ
- 3 だるまさんの／かがくいひろし
- 4 ころべばいいのに／ヨシタケシンスケ
- 5 だるまさんと／かがくいひろし
- 6 ふしぎ駄菓子屋銭天堂1／廣嶋玲子
- 7 まどから★おくりもの／五味太郎
- 8 あのね、サンタの国ではね…／黒井健
- 9 いないいないばあ／松谷みよ子
- 10 おもちのきもち／かがくいひろし

AV資料

- 1 2020 GRAMMY NOMINEES
／ワーナーミュージック・ジャパン
- 2 崖の上のポニョ／宮崎駿
- 3 カーズ／ジョン・ラセター



明科図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書

『娘・はなへー ママが遺したいのちのレシピ』

安武千恵 安武はな／著 角川書店

表紙

25歳でがんになった後、娘を授かり、命がけで産んだ母。自分がいなくなった後を考えて、5歳の娘に家事全般を厳しく教え込む。自立できることを願って。毎日のみそ汁づくりも…。

33歳の若さで、夫と娘のはなを残して亡くなる母。母の願いを胸に娘は毎日みそ汁を作る…。

生きることの悲しみ、いのちの尊さを涙とともにしみじみと考えさせられる本です。そして、娘のはなさんを心から応援したくなります。

児童

『ねこは るすばん』

町田尚子／文・絵 ほるぷ出版

表紙

「にんげん でかけていった！」

人間が家にいなくなると、ねこはネコの世界へおでかけ。すしを食べて…風呂に入っ…。

「そろそろ かえるとするか！」
ねこの留守番は忙しい。それで部屋はぐしゃぐしゃ。
でも、ねこのつぶらな瞳はすべてを許してしまうのです。

「図書館リサイクルフェア」を開催します

市内各図書館で所蔵しなくなった本を無料でお渡しします。毎日追加で少しずつ出しますので、混雑を避け、最寄りの図書館へお越しください。

★日時 令和3年1月19日(火)～1月31日(日) (注：25日、29日は休館日)
午前10時～午後5時 (注：最終日は、午後3時までとなります。)

★場所 市内各図書館に案内がありますので、ご確認ください。

★その他 ・マスクの着用、検温、手指の消毒にご協力ください。・混雑時には入場制限をすることがあります。・本は一人10冊までお持ちいただけます。・袋をご持参ください。



編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>)

※編集後記※
年末年始はいかがが過ごしたかったですか？
か？時節柄どこにも出かけずに、読書三昧という方もいらしたでしょうか。
第164回芥川賞・直木賞の候補作品では、作家に芸能界の方がおり注目を集めているところ。選考は一月二十日に行われるそうですが、どんな作品が選ばれるのか楽しみですね。

